

平成27年度 施策評価表

課・グループ名

産業振興課商工観光グループ
まちづくり課企画情報グループ

作成年月日：平成28年8月30日

施策名	①観光拠点の形成とイベントの充実 5-6-①		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(6) 南幌のくらしを楽しむ	①観光拠点の形成とイベントの充実
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●南幌町の観光の核となる、なんぼろ温泉と連携を図り、南幌町の知名度高揚と地域の活性化に努めます。 ●観光施設・主要公共施設等の案内標識の整備に向けて、道路管理者側との協議を進めます。 ●観光協会を中心として、魅力ある観光地・南幌町のPRや情報発信を行うとともに、町内外で開催されるイベントの主催や参加により、特産品や農産物の販売PRを行い、知名度高揚を図ることに對して支援します。 ●商工会や農協等が開催するイベントと連携を図り、町の活性化や協働のまちづくりに對して支援します。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●なんぼろ温泉、親水公園、リバーサイド公園、リバーサイドゴルフ場、中央公園、ふるさと物産館「ビューロー」、パークゴルフ場などの施設を活用し、町内外からの観光集客を図っています。 ●観光案内板（観光協会）については、町内に5箇所設置されていますが、主要観光施設・公共施設の案内標識が不足しています。 ●町ホームページ（観光協会）や観光に関する情報などを活用し、情報発信を行っています。また、ビューロー内観光協会特販所・軽食コーナーで特産品の販売を行うとともに、町内外の各種イベントに積極的に参加し、南幌町のPR活動を行っています。 ●商工会や農協、観光協会等各種団体による主催イベントに多くの町民が集い、地域の交流や活性化が図られています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな観光地域資源の発掘を行い、観光施設との連携や農業を生かした観光事業に取り組む必要があります。 ●町外からの利用者に対して、わかりやすい観光施設・公共施設への案内標識の設置促進が必要となっています。 ●南幌町の観光振興を図るためには、特産品や農産物の販売・PR方法、観光協会特販所・軽食コーナーの活用促進など、活性化するための新たな取り組みが必要となっています。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況								
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化	
	都市近郊型観光拠点施設、南幌温泉周辺並びにリバーサイド公園等の観光入込客数を設置している。達成率は前年度対比としている。			成果指標 (総合計画・施策評価)			可 能	
							○ 不 可能	
	代替指標 ※成果指標がない場合			観光入込客数			未計測	
指標の設定								
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。								
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由	
		H24	H25	H26	H27	H28		
目 標	人	363,000	363,000	363,000	363,000(維持)	363,000	町内施設リバーサイド公園野球場や中央公園テニスコートの利用数が増えた。南幌温泉について、232,539人利用されたが、大規模改修に伴い10日間の休館を行ったことが、昨年度と比較し1,007人利用者が減少した。	
実 績	人	346,980	356,392	369,807	363,034			
達成率	%	95.6	98.2	101.9	100.1			
評価視点		評価結果					理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)					施策の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会、商工会、農協各種団体等が行うイベントに多くの町民が集い、交流や地域の活性化が図られた。 ・平成27年度「なんぼろ」知名度高揚事業として、ロゴや映像等の制作、アイドルによるPR、イベントを開催するなど札幌圏に居住する子育て世帯を中心に取り組みを進めた。 	
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)							
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)					A		
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)							

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	実績					H27実績	H28予算	
1	観光協会運営助成事業	(1)	産業振興課	①主催イベントの参加・来場者数 ②ビューロー軽食コーナー利用者数	① 800	件	観光協会が運営し、取り組む事業に対して助成する。 ■特産品や農産物を町内・町外イベントに出店し、販売・PRの実施 ■主催イベントの開催→各種関係団体との連携・交流 ■ビューロー-特販所・軽食コーナーの運営並びに事業の開催 ■情報の発信→観光協会だよりの発行等	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	1,383	高い	
					② 3,500						① 468		1,120
2	観光振興事業	(1)	産業振興課	【観光施設の利用状況】 温泉、リバーサイド公園、中央公園、ゴルフ場、ふるさと物産館	356,000	人	■各種団体(商工会・農協・観光協会等)が開催されるイベント等に支援を行うとともに、観光施設(温泉)等との連携を図り、情報の発信を行う。 (1)特産品・農産物等のPR (2)町ホームページ(観光協会含む)、観光情報やイベント・南幌町の情報発信 (3)南幌いきいきガイド(特産品等)・南幌町(町の紹介)のパンフレットの作成・配布 (4)メディア等の活用による情報の発信	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	0	高い	
					363,034	人					50		
3	【新規】知名度高揚対策事業	(1)	まちづくり課				平成27年度に知名度高揚事業を実施し様々な広告展開を行った。このことにより、南幌町を知らなかった、また、行ったことがなかった方などが南幌町を知り、来てもらえる機会となり、効果があったため、継続して知名度高揚に係る取組みを実施する必要がある。特に平成28年度から平成30年度まで集中的に実施する。	Ⅲ	Ⅰ	1 現状のまま継続	5,000	高い	
											5,000		

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H27事業費	6,383
H28予算	6,170

②H28に実施した新規事務事業

実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1				

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の妥当性 A ・引き続き、3団体(町、商工会、農協)と連携を図り、観光協会運営事業に対し支援協力を行っていく必要がある。 ・観光協会や商工会、農協等が行うイベント情報や観光情報の発信をするとともに観光施設の拠点である「南幌温泉」と連携し、町外からの観光客を呼び込む知名度向上を図っていく必要がある。 ・南幌町を知ってもらう取組みを継続して進めるが、実際、南幌町に来てもらい「遊び」や「札幌市からの近さ」などを体験してもらえるような取組みが必要となる
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降の予算の方向性
			A					
			B	2	3			
			C	1				
			D					
			○	維持		拡大		
						縮小		